

## 1. はじめに

11 月に入ると、急に日照時間が短くなり、更に凍えるような寒さが少しばかりの憂鬱さをもたらした。しかし、10 月に比べると生活に慣れてきたこともあり、先月よりも心には余裕があった。

コロナウイルスの情勢において、活動は制限されているが、11 月の学習面、生活面について報告する。

## 2. 学習面

1 ヶ月目の授業の際は、先生からの課題を聞くだけでも一苦労していたが、11 月に入るとそのようなことは徐々に無くなった。しかし、ディスカッションの際などは自分の意見を言うのが限界であり、周りの意見を聞いた後に、話を掘り下げるような質問などが出来ないのが今後の課題とする。

授業時は常に知らない単語や熟語が出てくるので、如何に日本での母国語を用いた授業が楽なのかを痛感する。同時に英語が堪能になれば可能性が広がると思うと、より一層英語の学習に力が入る。

先日、クラスの担当の先生がヴァケーションとのことで一週間だけ日替わりで違う先生が担当になる週があった。先生によってこれほどまでに授業が違うのかと、驚いたのを覚えている。今の担当の先生が悪いというわけではないが、限られた時間の中で自分が一番成長出来ると感じる環境に身を置きたいと感じた。また、担当の先生に限らず、職員の多くが一週間ほどの休暇を適宜取得しており、日本では考えにくい状況に文化の違いを感じた。

留学では自分の出来ないことが如何に多いのかを痛感する。しかし、出来ないことを数えると本来のあるべきモチベーションが失われるので、出来たことや成長したことを日々感じれるように学習に励む。そのように肝に銘じるが、ディスカッションの際などに、日本語ならば自分が言いたいことをすべて言って、グループをまとめることが出来るのにと常を感じる。いつか、そのような考えが懐かしいと思えるような自分がいることを目標に残りの留学生生活を過ごしていく。

## 3. 生活面

10 月に比べて日照時間が短くなり、更に凍えるような寒さによって外出する機会は減った。また、コロナウイルスの感染者が日本の比にならないほど多いイギリスの状況を踏まえると、人の多い場所には行ってはいけない、外出をしてはいけないという考えが頭を過る。そのため、室内などの生活がメインの 11 月になった。

先日、初めて Amazon を用いてイギリスでは買えない物を手に入れることが出来た。日本でも同様にインターネットが普及しており、注文するとすぐに手に入れることが出来るが、異国の地での体験によって現代社会の驚愕すべき恩恵であると気づく事が出来た。また、一昔前は紙の辞書を用いて単語を調べるが、現代ではスマホさえあればほんの数秒で検索することが出来る。このように時代と共に人々は快適に生活することが出来ているが、恐らく数十年後の人々は 2021 年という時代を不便な時代と捉えるのであろう。変わりゆく社会に適応するのは簡単ではないが、いついかなる時も時代と共に適応し、成長しなければならないと感じた。

## 4. おわりに

日本では体感したことのないような寒さに日々恐怖があり、12 月や 1 月を乗り越えられるのかと不安に思うこともあるが、日常生活に慣れてきたように、寒さも慣れてくるのだろう。また、11 月の終わり頃に、新型コロナウイルスの新たな変異株が発生したとのことで、より一層感染に注意を払って生活していく。

以上で 11 月分の月例報告を終了する。